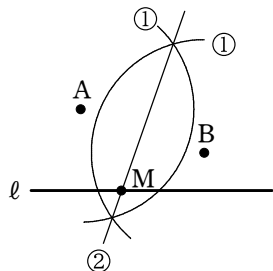
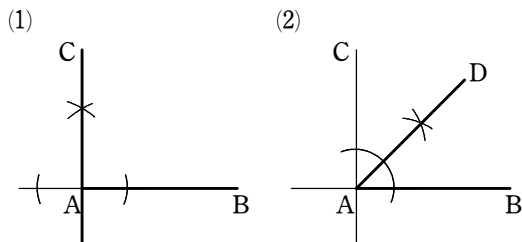


作図③ 解答と解説

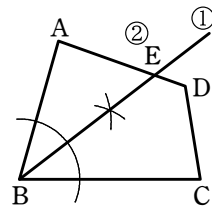
- 1 ① 2点 A, B をそれぞれ中心として、等しい半径の円をかく。  
 ② ① でかいた 2 円の交点を通る直線をひき、直線  $l$  との交点を M とする。  
 このとき、点 M は、直線  $l$  上において、2 点 A, B から等しい距離にある点である。



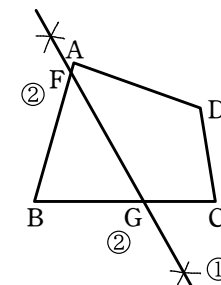
- 2 (1) 点 A を通り、直線 AB に垂直な直線上に点 C をとる。  
 このとき、 $\angle CAB = 90^\circ$  である。  
 (2) (1) で作図した  $\angle CAB$  の二等分線 AD を作図すると、 $\angle DAB = 90^\circ \div 2 = 45^\circ$  である。



- 3 (1) ①  $\angle ABC$  の二等分線を作図する。  
 ② ① で作図した二等分線と辺との交点を E とする。  
 このとき、線分 BE が求める折り目である。



- (2) ① 線分 BD の垂直二等分線を作図する。  
 ② ① で作図した垂直二等分線と辺との交点をそれぞれ F, G とする。  
 このとき、線分 FG が求める折り目である。



- 4 ① 点 A を通り、直線 XY に垂直な直線をひき、この直線と線分 XY の交点を C とする。  
 ② ① で作図した直線上に、 $A'C = AC$  となる点 A' をとる。A' と B を結び、線分 XY との交点を P とする。  
 このとき、 $\angle APX = \angle A'PX$ ,  $\angle A'PX = \angle BPY$  であるから、 $\angle APX = \angle BPY$  となる。

